

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大牟田市役所			代表者名	大牟田市長 関 好孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画総務部デジタル行政推進室	連絡先電話番号	0944-41-2511
担当者役職	主査	担当者氏名	前原 早紀	連絡先E-mail	
住所	836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	オープンデータ及びEBPMの推進		
概要	昨年度開催した「オープンデータ活用研修」に参加した職員へのフォローアップ及び昨年度受講できなかった職員向けにオープンデータやEBPM等、データの利活用について学ぶことができる研修の講師を依頼したい。				
支援を求める分野	オープンデータ EBPM 人材 (DX推進のための機運の醸成)				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月7日	講演(実地)	13時30分	16時30分	10
			活動時間(分)	170	
2-2. 派遣場所	会場名	大牟田市役所		最寄駅	大牟田駅
	所在地	福岡県大牟田市有明町2丁目3番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	2日目は一般職員向けに「基礎編」の研修を開催した。座学とワークショップを通して様々なデータと向き合うことで、自身に関係する業務についてだけでなく、俯瞰的に本市の状況を知る良いきっかけとなった。特にワークショップではRESASやRAIDA、ウェルビーイング指標等のダッシュボードサービスを使ったデータの探し方を教えて頂き、今後も業務で使用したいと前向きな意見もあった。データ利活用に対して苦手意識がある参加者も多い中、牛島氏のわかりやすい丁寧な説明で勉強になったと参加者からも非常に好評だった。
アドバイザーへの要望事項	来年度以降も継続して講師をお願いしたいです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	23人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	23	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	オープンデータの意義やEBPMの考え方、データ活用事例等について職員へ浸透できていないこと、また一部の職員においてはデータ自体への関心や理解が乏しく、自身が業務で取り扱っているデータについて理解・整理できていないことも課題となっている。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>全体：庁内でデータの利活用が進み、多様化する市民ニーズを捉えた満足度の高い市民サービスを提供することで、市民の市政への参加意識が高まり、地域の発展や市民の生活の質の向上を目標とする。</li><li>一般職：オープンデータやデータの基礎知識習得だけでなく、EBPMについて職員が理解し、日常業務で実践する。</li><li>管理職：EBPMの手法や管理職としての心構えを理解し、DX推進のマインドを醸成する。</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	今回は一般職員向け研修(基礎編)を開催した。 ・座学: オープンデータの定義や意義だけでなく、著作権・ライセンスの考え方、他市町村事例を学んだ。 ・ワークショップ: 「データから本市の解決すべき課題を探す」ことをテーマとし、データの探し方から課題を導き出すまでの流れを教えて頂き、班毎に発表した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	・オープンデータの定義や意義等の基本的な知識を学んだ。 ・RESASやMy City Forecast等のシステムを利用しデータを活用することで、経験や勘だけでない政策立案が可能となることを実感できた。 ・オープンデータを活用した自治体や団体の事例を知ること、自身の業務におけるデータ活用についても考えるきっかけとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照ください。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	オープンデータの普及促進に取り組むことで、業務効率化や市民サービス向上が図られることを認識し、職員自らがオープンデータを積極的に利活用することが目標。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子  
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

